

2022年3月29日

株式会社三菱UFJ銀行

## ENGIEとの協業について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 <sup>はんざわ じゅんいち</sup>半沢 淳一、以下 当行）は、今般、ENGIE SA（Chief Executive Officer Catherine MacGregor、以下 ENGIE）との協業（以下 本協業）を決定いたしました。本協業は、同社のGlobal Energy Management & Sales部門を通じ、お客さまの脱炭素戦略を支援するカーボンクレジット<sup>[1]</sup>などのソリューションを提供することを目的としております。

国際的な気候変動対応で、国や企業による温室効果ガス（以下 GHG）の排出量削減が進められている中、日本では「GXリーグ基本構想<sup>[2]</sup>」が公表され、排出量削減の取り組み後のGHG排出をオフセット（相殺）し、カーボンニュートラルを達成する手段として、カーボンクレジットの活用に対する期待も高まっております。

本協業を通じて、当行はENGIEが取り扱う適切なカーボンクレジットを当行のお客さまに提供いたします。また、ENGIEと共同で再生可能エネルギーおよび、水素などの新事業の開発・展開を目指してまいります。

フランスに本社を置くENGIEは低炭素エネルギー・サービス分野で模範となる総合エネルギー企業として、顧客の脱炭素化を支援しています。ENGIEのGlobal Energy Management & Sales部門は、10年以上の再エネ・低炭素ソリューション提供の実績があり、この市場における知見やイノベーションを用いて、グリーンコーポレートPPA<sup>[3]</sup>、グリーン電力証書<sup>[4]</sup>、エネルギートレーディング<sup>[5]</sup>、カーボンオフセットなど、幅広いソリューションを開発・提供しています。

当行は引き続き、お客さまのESGの取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

[1] 排出量見通し（ベースライン）に対し、下回った実際の排出量の差分を、MRV（モニタリング・レポート・検証）を経てクレジットとして認証されたもの

[2] 経済産業省ホームページ：[GXリーグ基本構想](#)

[3] コーポレート・パワー・パーチャス・アグリーメント（電力購入契約）

[4] Renewable Energy Certificate（REC）は、再生可能エネルギーの環境付加価値を示す証書

[5] ガス、LNG、電力等のエネルギー原産地とその二酸化炭素排出原単位（Carbon Intensity）を証明するサービス

以 上